

## 様式第1号

## 会議録

会議の名称	令和7年度 第2回 所沢市公共事業評価委員会
開催日時	令和7年11月11日(水) 15時から16時30分まで
開催場所	所沢市上下水道局庁舎 3階会議室
出席者の氏名	杉崎 和久、櫻田 和子、寺内 義典、宗政 由桐
欠席者の氏名	
説明者の職・氏名	経営企画課主査 岩田 堯之 下水道整備課主任 湯本 裕樹 市街地整備課主任 齊木 亮太
議題	(1) 事後評価書修正についての説明 (2) 評価及び答申の整理 ・生活環境の改善と公共用水域の水質保全<第2期> ・所沢駅周辺地区整備計画(第2期)及び所沢駅周辺地区 (3) その他
会議資料	資料A-1:社会資本総合整備計画(R02~R06)事後評価書(案) 資料A-2:社会資本総合整備計画(R02~R06)事後評価図面(案) 資料A-3:社会資本総合整備計画(R02~R06)事後評価書説明資料 資料B-1:社会資本総合整備計画(H31~R05)事後評価書(案) 資料B-2:都市再生整備計画(R01~R05)事後評価書(案) 資料B-3:社会資本総合整備計画(H31~R05)事後評価図面(案) 資料B-4:社会資本総合整備計画(H31~R05)及び 都市再生整備計画(R01~R05)事後評価書説明資料

担当部課名	下水道整備課長	森田 敏幸
	下水道整備課副主幹	田村 真一
	下水道整備課主査	江川 暢彦
	下水道整備課主任	吉田 卓眞
	下水道整備課主任	湯本 裕樹
	経営課主査	向井 達哉
	市街地整備課長	森澤 律昭
	市街地整備課主幹	横山 仁
	市街地整備課主査	長谷川 正美
	市街地整備課主査	森 雅也
	市街地整備課主任	齊木 亮太
	所沢駅西口区画整理事務所長	吉田 稔
	所沢駅西口区画整理事務所主査	坂田 博明
	所沢駅西口区画整理事務所主任	柴山 矩太郎
	経営企画課主幹	岩崎 智己
	経営企画課副主幹	野畠 聰志
	経営企画課主査	岩田 奠之
	経営企画課主任	北爪 多恵子
	経営企画課主任	大畠 知佳
	経営企画部 経営企画課	電話 : 04-2998-9027

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>会議録の作成は要約方式、確定は事務局案を各委員に配布して承認を得るものとされた。</p> <p>以降、杉崎委員長により議事を進行。</p> <p>（1）事後評価書修正についての説明</p> <p>「生活環境の改善と公共用水域の水質保全＜第2期＞」、「所沢駅周辺地区整備計画（第2期）」及び「所沢駅周辺地区」の事後評価に関して、委員会として答申を整理するところまで進めたい。</p> <p>（2）評価及び答申の整理</p> <p><b>【所管課：下水道整備課】</b></p> <p>配布資料に基づき社会資本総合整備計画事後評価内容について、前回の内容を踏まえて補足説明した。</p>
委員長	<p>第2次市街化調整区域下水道整備計画（以下「第2次計画」とする。）の策定において、既存の宅地化された地域をブロック設定したという話があった。下水道の計画は調整区域の開発許可と連動しているものではないと想定されるが、今後新たに宅地開発が行われる可能性や、その対応については検討しているか。</p>
所管課	<p>調整区域の新たな宅地の増加については、今後予定されている工業団地や土地区画整理事業については把握している。</p> <p>それ以外の民間による開発事業等については、想定を行うのは難しいと考えている。</p>

委員	<p>評価指標としている下水道処理人口普及率は、国が示しているものであることは承知しているが、当初現況値が94.4%と高いことやこれを0.4%上げるという最終目標値の投資対効果が直感的にわかりにくいところがある。</p> <p>今後第2次計画を進めていく中で、例えば、抽出した整備対象となるブロックのうちの完工割合や、国土交通省から下水道事業の事後評価に当たっての評価手法が示されているのでそれらも参考に、評価指標についても見直してはどうか。</p>
所管課	<p>今回は令和2年度から6年度の社会資本総合整備計画を評価しているものであるが、今後、令和8年度から12年度を計画期間とする社会資本総合整備計画の策定が開始される。指標についても検討を行いたいと思う。</p>
	<p><b>【所管課：市街地整備課】</b></p> <p>配布資料に基づき社会資本総合整備計画及び都市再生整備計画事後評価内容について前回の内容を踏まえて補足説明した。</p>
委員	<p>土地価格の上昇について、本日の説明資料にある埼玉県平均との比較を評価書にも反映してはどうか。</p> <p>また、「防災性の低い建築物がなくなったことで」という表現は、当該建築物の所有者にとって財産であったわけなので、気になる言葉と捉えることもできる。「更新が図られた」など表現も配慮したほうがよいと考える。</p>
委員長	<p>他のエリアの方針についてはどうなっているのか。エリアプラットフォームの説明として、既に整備された公共用地の活用という視点であり、銀座通りなどのマンション前などをを利用して回遊性を見直すという話である。</p>

	<p>人の流れを活性化し、回遊性を高めることも必要であるが、木造密集市街地や基盤整備が整っていないようなプロペ通りを含む駅周辺エリアについて、防災性を含めて今後の方向性を決めていくことも大切ではないか。</p> <p>また、景観向上に関する記述については、所沢市の景観というと一般的には狭山丘陵の縁があげられると思う。ただ、今回の計画においては、所沢駅西口前にあった車両基地（跡地）がショッピングモールになったことで、景観向上に寄与したという整理か。</p>
所管課	<p>所沢駅西口エリアだけでなく、例えば北側の東町再開発では、古い商店が雑然と密集していたエリアもあったが、今回の計画により街並みが改善されたという認識である。</p>
委員	回遊者数について、属性や性別などは把握しているか。
所管課	回遊者数は歩行者と自転車の数のみで、属性については不明である。
委員	<p>全世代で同様の傾向であれば心配ないが、世代による偏りがあると、将来的な変化に不安が残る。</p> <p>継続的に調査を行うことができるのであれば、属性も含めて捉えるとよいのではないか。</p>
委員長	<p>エミテラス開業によって所沢駅の乗降客数が増加したにもかかわらず、プロペ通りの通行者数が減少していることは課題である。プロペ通りも含めた全体としてのまちづくりの方向性を議論する際には、委員提案の属性も含めた調査や時間帯の検証もしていくのも良いのではないか。</p> <p>また、プロペ通りの商店街の方も含めた検討の場はあるのか。</p>

所管課	まちづくり協議会の中で隨時検討を行っている。
委員長	<p>計画としては面的な広がりのあるエリアなので、エリア全体として人流が生まれるとよい。大規模な道路整備をせずに、大規模商業施設が開業したにもかかわらず、深刻な道路渋滞が発生していないことからも電車を利用している方が多いのではないか。</p> <p>また、アンダーパスの開通も控えているが、計画との関連はあるか。</p>
所管課	<p>大型商業施設の南側までは本計画に基づき整備したところだが、それより東側の部分は個別補助事業等により実施しているため当計画には位置付けられていない。</p> <p>また、プロペ通りの通行者数についての補足であるが、プロペ通りは商店街だけでなく、通勤経路という側面がある。リモートワークなどの多様な働き方が増えた中で、ある程度の人流を保っていると考えている。プロペ通りの利用者の増減についての調査についてはそうした属性も考慮が必要ではないか。</p>
委員長	商業振興の話になるが、お店の構成が居酒屋の割合が増えて、かつての広域商店街の役割を終えているように感じる。都市計画的な側面からみても建物の更新が進んでおらず、懸念がある。
委員	やはりプロペ通りの通行者数が5%減というのは、エリア全体の人流が増えているにもかかわらず、商店街が恩恵を受けていない印象を受ける。プロペ通りを通行者数だけでなく、魅力を感じるのであれば滞在時間等も含めて今度のことを検討していくのがよい。
所管課	商店街の方からは利用者が増えたという声もある。商店街の意向も踏まえながら連携をしていく必要がある。

委員	商業施設の開業によって増加した通行者数を一過性のものではなく、習慣的に所沢を訪れてもらえるような街づくりをしていく必要がある。
委員長	都市再生整備を起因として、大型商業施設の開業や質のよい住宅共有がされたことにより、所沢市に注目が集まり、積極的に選ばれるまちになったという評価をしてもよい。
事務局	<p>(3) その他</p> <p>来年度についても、公共事業評価委員会に諮る案件がある場合には、改めて連絡するのでよろしくお願ひしたい。</p>

以上